



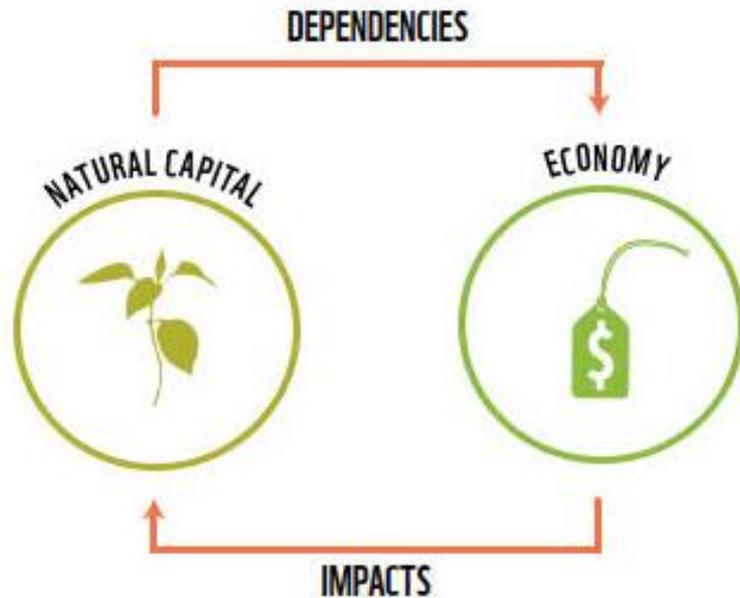
生物多様性と金融の 国際的動向

松田英美子
WWFジャパン
メディア勉強会 2020年10月28日



自然資本: 経済における自然の役割

生物の多様性によって提供される生態系サービス
年間推定125~140兆米ドル



1970年から2016年までに
68%の脊椎動物が減少

生物多様性保全に使われている資金
780-910億 米ドル/年



生物多様性に負の影響を与える可能性のある活動
5000 億 米ドル/年



国際的な動き(概要)

生物多様性ファイナンスは発展段階。
ただし、急速に構築中

- “グリーンな活動”への投資

生物多様性やエコシステム保全・回復に寄与するよう
な活動

文化的サービス／自然調整サービス／マテリアル
サービス

- ファイナンスの“グリーン化”

生物多様性に関する投資を通じて起こりうるリスク
の回避



環境に対する負の影響を緩和するようなプロジェクト
への移行





生物多様性関連リスク

生態学的リスク:

生物多様性の損失または生態系の劣化
生態学的影響および依存性に関連するリスク

責任リスク:

生物多様性に関連する損失または損害に対する責任・補償

規制リスク:

生物多様性に関する規制強化

評判リスク:

投資家、消費者、株主、政策立案者、市民社会のニーズによる生物多様性リスクを含む報告

財務リスク:

保険リスク、生物多様性依存による資本コストや融資要件の増加



民間セクターによる生物多様性への関与

主導者	施策	実施概要
政府	環境財政改革	農業補助金と土地所有権の改革などにより、社会、開発、雇用創出プログラムへの投資
	国家計画や規定	自然資本会計を実施し、関連データを公共財として提供 金融セクターにおける生物多様性基準の統合を支援する 生物多様性国家戦略と行動計画に民間部門の役割を含める
NGO	TNFD	WWFを含むNGOにより、策定中（次のページ）
	Nature Action 100	投資家による「気候100」に相当するものを確立 サプライチェーンへの働きかけを含む企業変容を推進
国際開発金融機関や政府	資本提供	基礎投資家としての役割を果たし、プロジェクトに同意する ファンドやその他の金融商品に資本を提供することにより、 生物多様性の目標のために民間投資を動員



自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) とは

目的 自然資本に関連するリスクと機会の理解および経済へのレジリエンス強化

設立団体 Global Canopy、UNDP、UNEP FI、WWF



これまでの経緯と今後

- 2019年 G7環境大臣会合においてタスクフォース立ち上げを呼びかけ
- 2020年7月 TNFDの非公式作業部会発足について発表
- 2020年9月 TNFD 非公式作業部会立ち上げ
国連事務総長などからも各国リーダーへ呼びかけ
- 2021年前期 スコープA計画など提示
- 2021年後期 タスクフォースを正式に立ち上げ

非公式作業部会 63の団体・企業・機関
金融関連企業(28社)、国際金融機関等(5機関)、民間企業(6社)、
政府関係機関(7機関)、シンクタンクやコンソーシアム(17団体)

URL <https://tnfd.info/>



Thank you

panda.org